



12日から19日まで、1学期末個人懇談を実施します。

充実した夏休み、2学期に向けて、生徒・保護者・担任が話し合う、実りある時間にしたいと計画しました。

《懇談に関わるお願い》

- ・懇談期間中は、午前中授業です。給食はありません。状況に応じて昼食をご用意してあげてください。
- ・懇談の時間は学級担任からお知らせしております。場所は、各学級の教室です。
 - ※もしも急に来校できなくなったり、時間に遅れたりする場合は、必ず学校に連絡してください。
- ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止にご協力をお願いします。
 - ※発熱・風邪・体がだるいなど体調不良の場合は、来校するのをやめ、学校に電話連絡してください。
 - ※来校時には、正面玄関の検温センサーで検温し、手指消毒、マスク着用を守ってください。
- ・必ず「上履き」と「上履きを入れる袋」を持ってきてください。
 - ※感染予防のため、スリッパの貸出しはしません。ぬいだ履物は、袋に入れて持ち歩いてください。

《その他》

- ・支援学級在籍や通級指導など支援教育、学習支援に関することもご遠慮なくご相談ください。

■ 1学期の中宮中学校の取組み(概要)

《令和4年度学校教育目標》

自分と社会を結びつけて考え、行動できる力を育成する

《中宮中生にはぐくむ3つの力》

考える力・・・主体的に物事をとらえ、多角的、多面的に考えることができる力
言語力・・・相手の考えを読みとり、聞きとる力・自分の考えを書き、話して伝える力
コミュニケーション力・・・人とつながり、協働して答えを導き出す力・豊かな人権感覚
※タブレットなどICTを正しく活用し、必要な情報を手に入れ、発信する力

その1 「3つの力」を育む授業づくりに取組みます。

- ・枚方の授業スタンダードをもとに、グループ学習を生かした授業づくり(研究授業)をすすめています。
- ・新しい評価の観点(裏面)を踏まえ、日々の授業での学びの様子や課題の取り組みを積極的に評価します。
 - ※昨年度から定期テストは年4回実施に変更しています。単元テストや小テスト、提出課題も評価します。

その2 学習指導と評価の一体化で、学びに向かう意欲と力を育てます

- ・ICTを授業や家庭学習で活用する場面を増やし、一人一人の学習状況にあった学びを追求します。
- ・ライバルは「めざす自分(目標)」と「きのうの自分(成長)」、自分の課題がわかりやすい評価に取組みます。
 - ※まわりの友だちとの比較につながる平均点や席次、度数分布などは公表していません。

その3 生きた学びを提供するために「人との出会い」を大切にします。

出会いと学び 郭辰男さんの「多文化共生社会を考える」(2年)

劇団「タルオルム」の一人劇『チマチョゴリ』(全学年)

篠原嘉一さんの「情報リテラシー研修会」(全学年)

※その他「薬物乱用防止教室」(3年)・「非行防止教室」(1,2年)も実施しました

1年 民博と万博公園 2年 コリアタウンフィールドワーク 3年 修学旅行(松代大本営跡見学)

その4 毎日の生活を学びの場として、主体的な自治の力を育てます。

- ・生徒会活動や委員会、学級活動、部活動も「自分たちで考えて責任を持って取り組む」ことをめざします。
 - ※生徒会行事、生徒会本部独自の取組み(募金や「目安箱」)、学級の班づくり、終わりの会など

■通知表でお伝えする「評価」のつけ方

枚方市立19中学校の校長と教員が話し合っただけのルールに従って算出しています。

この評価方法は、各教科が設定した評価の観点及び評定（総括的評価）の到達目標に照らして、その実現状況（どこまで到達しているか）をみるものです。

【観点別学習状況評価】

◎評価の観点とその内容、評価の方法・・・ペーパーテスト以外方法での評価が増えています。

評価の観点	何を評価するか	どのように評価するか(例)
知識・技能	個別の知識や技能が習得できているか。	基本や応用のペーパーテスト等
思考・判断・表現	各教科の知識や技能を生かして課題を解決するための思考力や判断力、表現力が身につけているかどうか。	活用問題のペーパーテスト等 振返り、レポート、提出物の内容、授業中の取組み状況の見取り
主体的に学習に取り組む態度	知識、技能の獲得や思考、判断、表現力を身につけることに向けた粘り強い取組みの側面と自分の学習を調整しようとする側面	ノートやレポートの内容 授業の取組み状況 授業中の行動観察 ※生徒の自己評価や相互評価参考

※実際の各教科の観点別評価の評価材料は、通知表といっしょに終業式の日プリントでお知らせします。

◎A, B, Cの記号により3段階で評価します。

- A:十分満足できる … 観点ごとの満点の 75% 以上
- B:おおむね満足できる … // 40% 以上
- C:努力を要する … // 40% 未満

【評定】

各評価の目標到達度を総括して5段階で評価します。各観点の観点別学習状況評価を数値化し、その合計点と観点別得点合計の両方を考慮して算出しています。(次の①②両方ともに基準を満たすこと)

①ABCを数値化(A⇒3点 B⇒2点 C⇒1点)して合計します。

②各観点別の得点を合計します。

※指導内容を考慮し、各観点の比率を変更することがあります。(年間で他の2倍以内)

③両方のカッティングポイントは以下のとおりです。

評価	内容	①観点評価合計	②観点別得点(素点)合計
5	十分満足できるもののうち、特に程度が高い	9点	85%以上
4	十分満足できる	8点以上	75%以上
3	おおむね満足できる	5点以上	40%以上
2	努力を要する	3点以上	
1	一層努力を要する	3点	20%未満

※3学期の通知表は、観点別学習状況評価及び評定ともに、年間を通しての評価(1～3学期を合わせた評価)となります。また「総合的な学習の記録」「行動の様子」についてもあわせて記載します。

《高等学校入学試験に関わる調査書等に記載する『評定』について》

公立高校入試の時に必要な調査書に記載する『評定』は、通知票の評価と同じものです。

1, 2年生時の『評定』も同様に3学期通知表に記載の通年の評価と同じものを記載します。

※3年2学期末作成の公立特別選抜調査書や私学個人報告書の「評定」は、1, 2学期を総合して決定します。

※3年生の「評定」は、9月6日(火)の「中学生チャレンジテスト」の結果で、適正かどうかを検証しています。

※各学年の評価は、指導要録にも記載して保管しています。

※評価については、各学年のクラスルーム掲載「シラバス」(授業の大まかな学習計画)にも掲載しています。

・参考に、昨年度の『学校教育自己診断アンケート』の結果公表資料を、ホームページに掲載しています。